

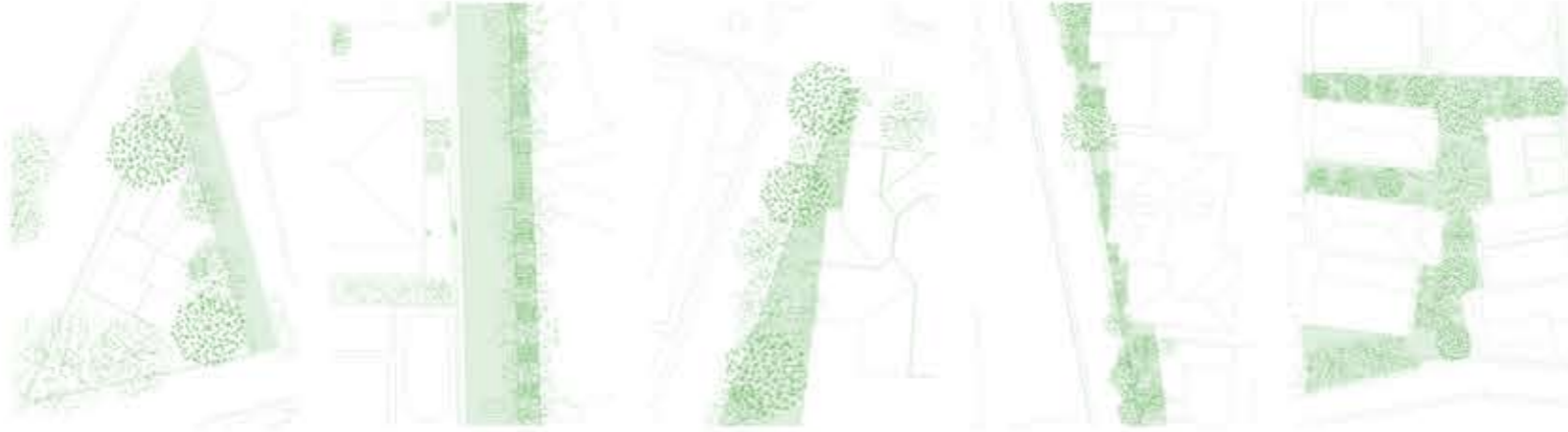


松原ハウス -暮らしがまちににじみ出し、暮らしを豊かにするランドスケープ-



まちと連続した立体的な庭がつくれます

松原のまちの風景 -密な暮らしの豊かさ-



敷地の周辺には、個性的で魅力的な風景をいくつも発見することができます。幅2mに満たない細い近道や、車が一台ようやく通れる幅の銀杏並木。家と道路の間のわずかな庭先にも緑があふれ、木々や人・物が互いにひしめき合う。都心ならではの居心地の良い密度のある暮らしの風景です。



A 三角地帯の細近道 **B** 幅2.5mの銀杏並木 **C** 狭小の庭先 **D** 緑のヴェール **E** 飛び石路地

■暮らしのランドスケープ



寝室: 朝日が差し込み、庭の木々に響ってきた鳥たちのさえずりで目覚める。庭の上のベッドルーム。天井高さは低く抑えられ、落ち着きのあるプライベートな空間。

庭: 背の高い樹木が植えられることで、まちと暮らしのパフファとなる。視線を遮り、木漏れ日を落とす。

ライブラリー: 寝室と一体的に使うこともできる。寝室の前室のような居場所。窓に面した長さ4.5mのカウンターはワークスペースとして利用したり、読書や映画鑑賞でリラックスしたりと自由に使うことができる。

キッチン: 長さ4.5mの広々としたキッチンカウンター。パントリーも備え、大容量の収納力を持った機能的なキッチン。

家庭菜園: ダイニング近くで、野菜やハーブを育てることができる。

子供部屋: 就寝する場所と、遊んだり、勉強したりするスタディスペースはカーテンで仕切られる。

洗面室: 広々とした洗面カウンターは、アイロン掛けなど作業台としても利用できる。

スタディ: 就寝する部屋の前室のような場所。遊んだり、勉強したり、自由に過ごすことができる。フロアレベルを下げて、視線の先に地面を見ることが出来る。

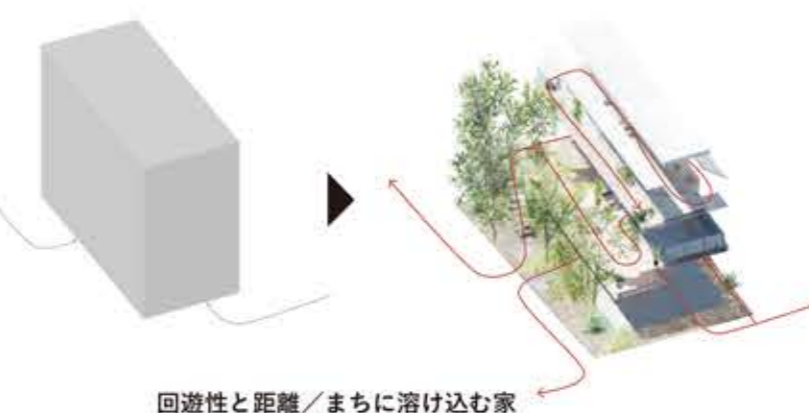
ダイニング:ヴォールト形状の天井が包みこむ空間。水平に連なる窓越しに広がる木々を眺めながらの食事。外部テラスと一体的に利用できるダイニング。

リビング: 引き戸を開けば、外部テラスと床が連続した、広がりある空間に。

断面展開図

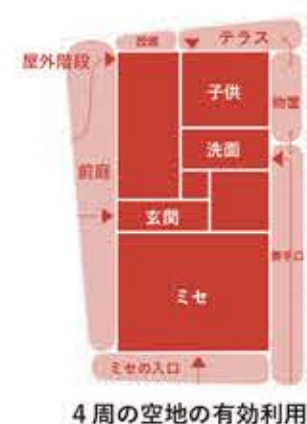
まちに溶け込む家 -回遊性と距離を内包する-

まちの中に見つけた、密なスケールを持った緑豊かな風景を段々形状に積み上げます。外部テラスと同様に室内空間もできる限り細長い形状とすることで、外部環境やまちとの接点を最大化することを意図しました。日当たりの良い場所、風の抜ける場所、人通りに面した前庭、木陰の少し隠れた場所。その時々で過ごす環境を選ぶことができます。庭やテラスをパフファとしながら、回遊性と距離を内包することで、まちに溶け込む家を目指しました。

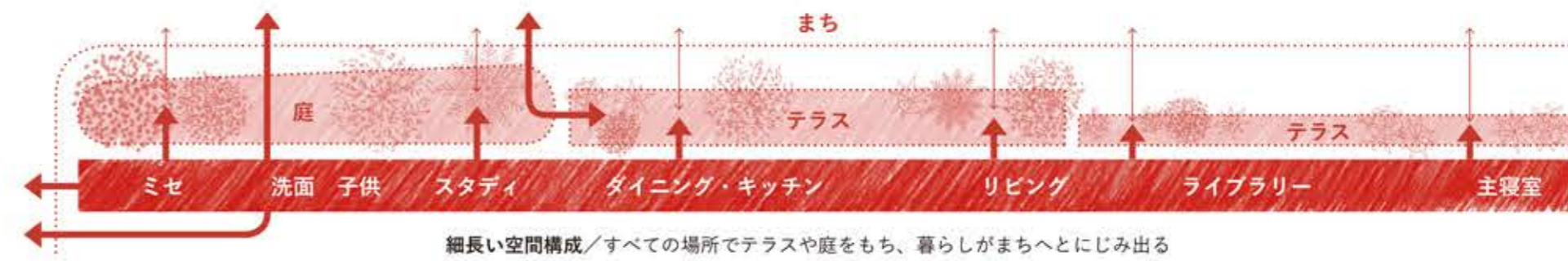


回遊性と距離/まちに溶け込む家

建物は敷地中央に配置することで、デッドスペースをなくし、4周の空地全てを有効に利用します。玄関の前庭や2階テラスへの屋外階段 / ミセの入口は道路に面したオープンな利用とします。勝手口 / 物置 / 子供テラスはプライベートでありながら暮らしが外側へと拡張する効率的な空地利用計画です。



4周の空地の有効利用



細長い空間構成/すべての場所でテラスや庭をもち、暮らしがまちへとにじみ出る